

承認番号	4226
研究課題名	印刷労働者にみられる胆管癌発症の病態解析
研究の意義・目的	胆管癌の原因として、膵・胆管合流異常、先天的胆道拡張症、胆石、胆嚢炎、胆管炎などがあり、生活習慣、嗜好品も関与していることが知られている。一方で、平成24年に印刷労働者にみられた胆管癌は、化学発癌機序が考えられている。他の胆管癌との形態学的、分子病態学的差異について検討する必要があるとともに、今後胆管癌発症の予知または早期発見につながるバイオマーカーを同定することが急務であると考えられる。本試験の結果によって試験対象患者に直接的に利益が生じる可能性は少ないが、将来的に早期発見、治療方針決定、再発予知、予後予測など胆管癌診断に貢献し、胆管癌治療成績の向上につながることを期待される。
研究期間	倫理委員会承認後～ 2025年3月31日
研究対象者の範囲	当大学医学部附属病院にて胆管癌と診断され手術を受けられた方。なお、2013年5月から2017年5月に本学にて胆管癌と診断され手術を受けられた方(「印刷労働者にみられる胆管癌発症の病態解析(受付番号:2574)」に同意いただいた方)も対象となります。
利用又は提供する試料・情報の項目	胆管癌のホルマリン固定パラフィン包埋ブロック、凍結組織および胆汁。また、胆管癌の治療に関する情報(有機溶剤の職業曝露の有無、年齢、性別および腫瘍に関する分化度、組織学的進行度などの臨床パラメーター)を収集する。
利用者の範囲	自施設および共同研究機関に所属する本研究に関わる研究者に対して試料・情報を提供する。この研究にご協力いただいた場合、貴殿から提供に同意頂いた検体や診療情報などの研究に関するデータは、個人を特定できない形式に記号化した番号により管理されます。また、共同研究者に情報を提供する際も同様の番号を用いて個人を特定できないようにして提供される為、貴殿の個人情報が外部に漏れることは一切ありません。 この研究から得られた結果が、学会や医学雑誌などで公表されることはあります。このような場合にも、貴殿のお名前など個人情報に関することが外部に漏れることは一切ありません。 貴殿から個人情報の利用目的等の通知、開示、訂正、利用停止の申し出があった場合には、申し出の内容に応じ対処させていただきます。
研究機関の情報	研究責任者：大阪市立大学大学院医学研究科 分子病理学 教授 鱈淵英機 共同研究者：国立がん研究センター研究所 発がん・予防研究分野 客員研究員/日本大学薬学部 環境衛生学研究室 教授 戸塚ゆ加里
代表施設のURL	
試料・情報を公表する方法	提供に同意頂いた検体や診療情報などの研究に関するデータは、個人を特定できない形式に記号化した番号により管理されます。また、共同研究者に情報を提供する際も同様の番号を用いて個人を特定できないようにして提供される為、貴殿の個人情報が外部に漏れることは一切ありません。
試料・情報の提供方法	匿名化されているもの(どの研究対象者の試料・情報であるかが直ちに判別できないよう、加工又は管理されたもの)を提供する
試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	大阪市立大学大学院医学研究科 分子病理学 教授 鱈淵英機
拒否機会の保障	本研究の対象者の方は、問い合わせ先に連絡することによっていつでも本研究への参加を拒否することができます。また、研究への参加を拒否されても、診療に関する不利益等を受けることは一切ありません。
拒否を受け付ける方法	【本研究に関する問い合わせ先】 研究代表者 鱈淵英機 住所 〒545-8585 大阪府大阪市阿倍野区旭町1-4-3 医学研究科 分子病理学 電話 06-6645-3736 FAX 06-6646-3093 E-mail pathology@med.osaka-cu.ac.jp